

教科	科目	使用教科書・副教材	単位数	対象学年・組
総合的な探究の時間		『人間と社会』	1 単位	第 1 学年 A ～ H 組

科目の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
価値の理解を深める学習、選択・行動に関する能力を育成する学習、体験活動などを通して、道徳性を養い、判断基準（価値観）を高めることで、社会的現実にも照らし、よりよい生き方を主体的に選択し行動する力を育成する。	生徒自身が自ら課題を設定し、問いを立て、教科横断的な多面的な観点から課題を捉え、自主的な課題を解決するために主体的に取り組む態度・能力を養う。	協動的な学習を通して、コミュニケーション能力や言語活動能力の向上を図るとともに、課題を多面的・多角的に検討し、思考力・判断力・表現力等の育成を図りながら、課題解決しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標		指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	・事前学習、演習、事後学習と体験活動の関連をしっかりと理解する。 ・体験活動の意義・ねらい、社会に貢献する活動と自らの役割、奉仕体験活動に関する基礎的知識・理解についてワークシートやレポート作成等を行う。 ・探究に主体的・協働的に取り組むとともに、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。	4 月	総合的な学習の時間のねらいや学習の進め方 「人間と社会」第 13 章 自然と人間の関わり	・事前学習、演習、事後学習と体験活動の関連をしっかりと理解している。 ・体験活動の意義・ねらい、社会に貢献する活動と自らの役割、奉仕体験活動に関する基礎的知識・理解についてワークシートやレポート作成等を行っている。 ・探究に主体的・協働的に取り組むとともに、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養っている。	○	○	○	3
		5 月	「人間と社会」第13章 自然と人間の関わり 高尾山での清掃活動 体験活動の意義・ねらい 体験活動と自己の在り方・生き方の関係の考察 学校近隣のボランティア活動 「人間と社会」第13章 自然と人間の関わり 「人間と社会」第 12 章 地域社会を築く					5
		6 月	「人間と社会」第12章 地域社会を築く 活動計画に基づいた地域での体験活動 学校での学習と社会に役立つ活動との関係 学校近隣の清掃等ボランティア活動					3
		7 月	「人間と社会」第12章 地域社会を築く 体験活動のテーマ、活動計画の策定 活動計画に基づいた地域での体験活動 探究活動についての課題設定の準備					2
2 学 期	・体験活動を通して学んだこと、課題、感想、社会貢献することの意義等について活動日誌をつける。 ・体験活動と探究活動との関連性について考える。 ・探究活動・方法について知り、探究活動に実質的に取り組み始める。 ・文献の読み込みを重視し、広い視野でのテーマ設定を行う。 ・探究活動・方法の具体化と実際の活動の進展をメンターと細かく打ち合わせ、探究活動を実質的に進める（この時点でのテーマ変更は柔軟に行う）。 ・学習状況の達成状況等について報告書を作成し、発表を行う。 ・伝わりやすい発表方法・形態を工夫する。	9 月	「人間と社会」第12章 地域社会を築く 活動計画に基づいた地域での体験活動 学校近隣のボランティア活動 探究活動についての課題設定	・体験活動を通して学んだこと、課題、感想、社会貢献することの意義等について活動日誌をつけている。 ・体験活動と探究活動との関連性について考えている。 ・探究活動・方法について知り、探究活動に実質的に取り組み始めている。 ・文献の読み込みを重視し、広い視野でのテーマ設定を行っている。 ・探究活動・方法の具体化と実際の活動の進展をメンターと細かく打ち合わせ、探究活動を実質的に進めている。 ・学習状況の達成状況等について報告書を作成し、発表を行っている。 ・伝わりやすい発表方法・形態を工夫している。	○	○	○	3
		10 月	「人間と社会」第11章 支え合う社会 手話体験、ブラインドウォーク、車いす体験 活動計画に基づいた地域での体験活動 学校近隣の清掃等ボランティア活動 自らの探究課題との関連の考察					4
		11 月	「人間と社会」第11章 支え合う社会 手話体験、ブラインドウォーク、車いす体験 活動計画に基づいた地域での体験活動 学校近隣の清掃等ボランティア活動 「人間と社会」第11章 支え合う社会 自らの探究課題との関連の考察					4
		12 月	「人間と社会」第 3 章 働くことの意義 活動計画に基づいた地域での体験活動 自らの探究課題との関連の考察 自らの探究課題の整理・分析					3
3 学 期		1 月	「人間と社会」第 3 章 働くことの意義 活動計画に基づいた地域での体験活動 自らの探究課題の整理・分析 探究課題における研究活動		○	○	○	3
		2 月	「人間と社会」第 3 章 働くことの意義 活動計画に基づいた地域での体験活動 学校近隣の清掃等ボランティア活動 探究課題における研究活動のまとめ					3
		3 月	研究活動のまとめ・発表 自己評価、キャリアガイダンス 探究テーマの設定検討 2 年次研究計画の立案検討 読書活動					2
								合計
								35

評価の方法：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
各計画書や報告書等の内容で評価する。	各計画書や報告書の文章表現及び体験活動や各報告書の内容、探究ゼミ内の討論の状況等で評価する。	体験活動や授業時間内での活動への取組み方、ゼミにおける姿勢等で評価する。

教科	科目	使用教科書・副教材	単位数	対象学年・組
総合的な探究の時間		なし	1 単位	第 2 学年 A ～ H 組

科目の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
価値の理解を深める学習、選択・行動に関する能力を育成する学習、体験活動などを通して、道徳性を養い、判断基準（価値観）を高めることで、社会的現実にも照らし、よりよい生き方を主体的に選択し行動する力を育成する。	生徒自身が自ら課題を設定し、問いを立て、教科横断的な多面的な観点から課題を捉え、自主的な課題を解決するために主体的に取り組む態度・能力を養う。	協動的な学習を通して、コミュニケーション能力や言語活動能力の向上を図るとともに、課題を多面的・多角的に検討し、思考力・判断力・表現力等の育成を図りながら、課題解決しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容		評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	・ 広い視野でテーマ設定をさせる。文献の読み込みを重視する。 ・ より具体的に探究テーマを設定させ、活動の方向性を絞らせる。 ・ 具体的な探究活動を進める。この時点でのテーマ変更も柔軟に対応する。	4 月	探究テーマの決定、課題の設定 調べ学習（遠足、進路	・ 広い視野でテーマ設定をしている。文献の読み込みを重視している。 ・ より具体的に探究テーマを設定し、活動の方向性を絞っている。 ・ 具体的な探究活動を進めている。この時点でのテーマ変更も柔軟に対応している。	○	○	○	3
		5 月	購読図書の選定、購読及び課題研究 探究ゼミでの意見交換・内容検討 中間報告					5
		6 月	購読及び課題研究 調べ学習（修学旅行、進路） フィールドワークの事前準備 探究ゼミでの意見交換・内容検討					3
		7 月	購読及び課題研究 フィールドワークの事前準備 調べ学習（修学旅行、進路） 探究ゼミでの意見交換・内容検討 夏季休業中の研究計画提出					2
2 学 期	・ 探究活動・方法の具体化と実際の活動の進展をメンターと細かく打ち合わせ、探究活動を実質的に進める。 ・ 探究活動のまとめに入る。報告書作成を開始する。 ・ 報告書の執筆と平行して、必要ならば探究活動の補足的な活動も行う。 ・ 報告書は早めに取り上げられ、内容・表現等の検討も行う。 ・ 伝わりやすい発表方法・形態を工夫する。	9 月	購読及び課題研究 調べ学習（修学旅行、進路） 探究ゼミでの報告・意見交換	・ 探究活動・方法の具体化と実際の活動の進展をメンターと細かく打ち合わせ、探究活動を実質的に進めている。 ・ 探究活動のまとめに入っている。報告書作成を開始している。 ・ 報告書の執筆と平行して、必要ならば探究活動の補足的な活動も行っている。 ・ 報告書を早めに取り上げられ、内容・表現等の検討を行っている。 ・ 伝わりやすい発表方法・形態を工夫している。	○	○	○	3
		10 月	購読及び課題研究 調べ学習（修学旅行、進路） 探究ゼミでの意見交換					4
		11 月	購読及び課題研究 修学旅行に関するまとめ・報告 調べ学習（進路、各自の探究内容） 探究ゼミでの意見交換・論文作成準備					4
		12 月	購読及び課題研究 調べ学習（進路、各自の探究内容） 探究ゼミでの意見交換・論文作成					3
3 学 期		1 月	購読及び課題研究 探究論文提出 探究ゼミでの意見交換		○	○	○	3
		2 月	発表資料作成 ポスターセッションによる探求発表 ポスターセッションのフィードバック					3
		3 月	発表準備 探究成果発表 総括・3 年次へ向けての準備					2
								合計
								35

評価の方法：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
各計画書や報告書等の内容で評価する。	各計画書や報告書の文章表現及び体験活動や各報告書の内容、探究ゼミ内の討論の状況等で評価する。	体験活動や授業時間内での活動への取り組み方、ゼミにおける姿勢等で評価する。

教科	科目	使用教科書・副教材	単位数	対象学年・組
総合的な探究の時間		なし	1 単位	第 3 学年 A ～ H 組

科目の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
価値の理解を深める学習、選択・行動に関する能力を育成する学習、体験活動などを通して、道徳性を養い、判断基準（価値観）を高めることで、社会的現実にも照らし、よりよい生き方を主体的に選択し行動する力を育成する。	生徒自身が自ら課題を設定し、問いを立て、教科横断的な多面的な観点から課題を捉え、自主的な課題を解決するために主体的に取り組む態度・能力を養う。	協動的な学習を通して、コミュニケーション能力や言語活動能力の向上を図るとともに、課題を多面的・多角的に検討し、思考力・判断力・表現力等の育成を図りながら、課題解決しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標		指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	・調査・研究を伴う探究コースを選択している生徒は、2 年次に決めたテーマについて、最終レポート提出までの計画を立て、顧問教諭の助言を受けながら調査・研究に継続的に取り組む。 ・文献の読み込みを重視する。 ・より具体的に探究テーマを設定させ、活動の方向性を絞らせる。	4 月	年間テーマを決定し計画を立てる。 読書活動を通じて、各自の課題を探究 調べ学習（遠足、進路）	・より具体的に探究テーマを設定し、活動の方向性を絞っている。 ・文献の読み込みを重視している。 ・具体的な探究活動を進めている。	○	○	○	3
		5 月	購読図書の選定 読書活動を通じて、各自の課題を探究 第 1 回レポート提出					5
		6 月	読書活動を通じて、各自の課題を探究 調べ学習（進路、大学での研究計画） 購読及び課題研究					3
		7 月	読書活動を通じて、各自の課題を探究 第 2 回レポート提出 第 1 回中間報告 調べ学習（進路、大学での研究計画）					2
2 学 期	・調査・研究を伴う探究コースを選択している生徒は、2 年次に決めたテーマについて、顧問教諭の助言を受けながら調査・研究のまとめの作業に取り組み、最終レポートを提出する。 ・クラス内またはクラス横断的な形式で発表を行う。	9 月	読書活動を通じて、各自の課題を探究 第 3 回レポート提出 調べ学習（進路、大学での研究計画）	・探究活動・方法の具体化と実際の活動の進展をメンターと細かく打ち合わせ、探究活動を実質的に進めている。 ・探究活動をまとめ、報告書を作成している。 ・報告書の執筆と平行して、必要ならば探究活動の補足的な活動も行っている。 ・報告書を書き上げた後に、内容・表現等の検討を行っている。 ・伝わりやすい発表方法・形態を工夫している。	○	○	○	3
		10 月	読書活動を通じて、各自の課題を探究 調べ学習（進路、大学での研究計画）					4
		11 月	読書活動を通じて、各自の課題を探究 第 4 回レポート提出 調べ学習（進路、大学での研究計画）					4
		12 月	読書活動を通じて、各自の課題を探究 最終レポート提出 調べ学習（進路、大学での研究計画）					3
3 学 期	・調査・研究を伴う探究コースを選択している生徒も、右記の取り組みを行う。 ・クラス内またはクラス横断的な形式で発表を行う。	1 月	読書活動を通じた課題の探究で得られ知識を、各教科の学習や日常生活の中で活用したり、知識を基に思考・表現したりする力を培う 取り組みを行う。 調べ学習（進路、大学での研究計画）	・知識を活用する能力および思考力・表現力を培っている。	○	○	○	8
		2 月						
		3 月						
								合計
								35

評価の方法：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
各計画書やレポート等の内容で評価する。	各計画書やレポート等の文章表現及び調査・研究活動や各レポートの内容、発表や討論の状況等で評価する。	調査・研究活動や授業時間内での活動への取り組み方、発表に対する姿勢等で評価する。